## はなこうまめ しき

令和5年 1月 第2号 西彼福祉事務所



## その健康 ~元気に冬を乗りきるために~

寒さがきびしい季節に、朝が起きられない、渡れがなかなかとれない・・などの \*だ調を懲じることはありませんか?

\*\*の葉さに負けないような体ででくりをおこなって、このぞを乗り切りましょう!

- 1 朝は、太陽の光をあびましょう。
- 2 ストレッチなどのゆったりとした運動をしましょう。
- 3 体をあたためる食材をとるようにしましょう。 宝ねぎ、にんじん、にら、しそ、しょうがなど。
- 4 お嵐宮はぬるめにして、湯船にゆっくりつかり、一体をあたためます。
  - ○この詩注意したいのが、ヒートショックです。



お風名場は普段すごす室内よりも襲いことが多いので、鷺に監定が上がってしまうことがあります。 お風名に入る請はストーブをやお風名の湯気で、脱衣所をあたためることもいいですね。

5 冬は空気が乾燥しています。一体を温めるためにも、温かい飲み物をわすれずにとりましょう。

## \* \* 栄養の取り方 \* \*

私たちの体を作るのは、食べ物です。季節に含った間の食べ物をとることが一番大事ですが、和食を取り入れることも大切ですね。



草く養べられるからと言って、めん類やパン類や昔い飲み物ばかりとると、養の草の菜養素がうばわれて しまうこともあります。

寒さのきびしい靴の地方では、漬物などの食品をよくとる食文化があります。

塩芬も適度にとるようにしましょう。

、 ※風邪やインフルエンザの予防のためにも、手洗い・マスク・うがいをつづけましょう。